



No.15 / 70

有脇小学校校長だより

2021・12・16

## 2021年はどんな年でしたか

- 約2週間で2021年が終わります。みなさんにとってどんな一年でしたか。令和2年年度の3学期からが2021年です。2から6年生のみなさんは、3月までは一つ下の学年でした。主な出来事を振り返ります。
- 1月に5年生（現6年生）は野外活動に出かけました。“海苔づくり・塩づくり”を体験し、新米“ありわきっ子”を使って、完全オリジナルおにぎりを作りました。
  - 卒業した6年生が3月に入って修学旅行に出かけました。犬山・蒲郡でした。卒業式の1週間前でしたが、思いっきり楽しみました。
  - 3月19日に4・5年生（現5・6年生）臨席のもと、卒業式を行いました。
  - 3月24日に修了式を行いました。この日をもって令和2年度が終わりました。
  - 4月6日に入学式を行いました。新入生19人が魔法の粉をかけてもらいました。
  - 4月7日に令和3年度1学期始業式を行いました。いよいよ新学年の始まりです。
  - 5月29日に予定されていた「ありっ子スポーツフェスティバル」は緊急事態宣言が延長されたため10月に延期されました。
  - 今年は水泳の授業を行い、7月後半には皆泳教室を行いました。
  - 8月19・20日に5年生が野外活動に出かけました。「美浜自然の家」で行いました。5時30分起床、6時から散歩という名のハイキングに出かけました。（^\_^）
  - 9月25日に予定されていた「かいどり大作戦」は緊急事態宣言延長のため中止となりました。愛知用水60周年記念行事にはリモートで参加しました。
  - 10月9日は、2日から再延期された「ありっ子スポーツフェスティバル」が行われました。今年も参観者2名までとしました。大きな声援を送ることはできませんでしたが、6年生が作った応援グッズを使ってしっかり盛り上がることができました。
  - 10月14・15日、奈良・京都へ6年生が修学旅行に出かけました。まだ人出が少なく、ゆったり見学、活動することができました。希望者は朝6時30分から宿の目の前の「若草山」に登りました。貸し切りです。（^\_^）
  - 各学年（6年生を除く）社会見学を行いました。見学後の掲示物を見ていると、しっかり勉強できたことがわかりますね。
  - 11月13日に学習発表会を行いました。今年も保護者は2名限定で、完全入れ替え制で行いました。本当は、もっとたくさんの方に見てほしかったです。それほどどの学年もすばらしい発表でした。こんなに毎日変化している子どもたちを見ることはなかなかありません。「成長」という言葉を実感した毎日でした。
  - 12月23日、2学期終業式です。2021年もあと少しを残すばかりです。

どの行事もコロナの影響を受け、今までと同じようには実施できないことが多かったです。ただ逆に、余分なものが見えてきたり、発想を大きく変えて実施することができたりして、学校行事や教育活動を見直す機会になりました。

次に、日常の活動についても振り返ります。

- うがい・手洗い・手指消毒をこまめに行いました。その結果、校舎内の水道水の水質が格段に良く（以前からも適正値の範囲内でしたが）になりました。また、蛇口を一つおきに使いなくしたり、足形マークで待つ位置を指定したりして密を解消しました。
- マスクの着用を推進しました。熱中症の心配があるので、登下校時や放課時には自己判断でマスクをはずすこともしました。緊急事態宣言下では、大放課の遊びや、体育科授業の内容も制限しました。子どもには我慢してもらいました。
- 給食時は全員が前を向き、黙食しています。また給食当番の手袋着用や一方通行で各自が給食を取りに行くなど、どんどん進化しています。
- 緊急事態宣言発令にともない、さまざまな集会をリモートで行いました。宣言が解除されると、体育館で行いました。状況に合わせて実施方法を変えています。
- アクリル板を全児童の机に設置し、毎日消毒（半田市が契約）しています。また、子どもたちが触れるドアノブやトイレなども、毎日消毒しています。
- 教室の前後に手指消毒用の除菌液を用意しています。手をかざすと自動で除菌液出るタイプに変更しました。

今年1年を漢字一文字で表すとしたら？

さまざまな場面で子どもたちとともに我慢と工夫を積み重ね、過ごしてきました。これから先もコロナと付き合いながら学校生活を送っていくことになると思います。



12月8日「劇団うりんこ」を招いて芸術鑑賞会を開きました。プロの演劇を鑑賞しました。まず声が違います。動きの切れが違います。知らないうちに引き込まれていました。“プロの・・・”“本物の・・・”はやっぱり違います。子どもたちには、これから多くの“プロ”“本物”と出会うことができるといいですね。自分自身が“プロ”“本物”を目指すのもすてきです。



生活委員会が「ウサギとふれあおう」という機会を作ってくれました。動物アレルギーやコロナ対策を確実にし、実施されました。有脇小学校には地域の方々から贈られた「ウサギ小屋」があります。

毎日、掃除をしたり、えさや水をかえたりしてくれる生活委員会の人たちがいます。夏休みも当番制でやってくれます。“かわいい”とか“楽しい”だけではウサギを飼うことはできません。委員会活動は、どの委員会でも“陰の力”なんですね。ありがとね。